

「可児市公共施設等マネジメント基本計画および第一期アクションプラン（案）」のパブリックコメント募集結果について

平成 29 年 1 月 10 日より 1 月 30 日まで実施したパブリックコメント募集に対し 1 人、4 施設の意見をいただきました。その内容とそれに対する市の考え方は次のとおりです。

ご意見・ご提案	考え方
<p>1. 図書館について</p> <p>1) 現在予約はネットで出来るが受け取りは図書館へ足を運ばなければなりません。図書館利用者の内高齢者・障害者・運転免許証返納者の方など移動が困難な方を対象に、利用促進として『予約本の自宅への配達及び返却時の受け取り』サービスを行っては如何でしょうか？ 市民満足度の向上と配達員の新規雇用にもなります。また高齢者に対しては安否確認や話し相手にもなり、民生委員の補完も可能となります。</p> <p>2) 「貸出中心」から「滞在できる」施設へ変化している、との説明があります。 イ) まずこれはどういう調査に基づいて出されたのでしょうか？ ロ) またこれが事実とすれば、その要因は何であるとお考えでしょうか？ 年齢・職業・図書館設置場所等によって利用目的が異なる可能性があります。夏休み等の長期休み中の児童・生徒達の利用は別にして、一つの推測として、図書館を滞在場所とするのは「家にいきにくい」(妻に粗大ゴミで邪魔だから外出せよといわれる夫？など)ということが考えられます。行き場所がないため、冷暖房完備で無料でしかも時間制限がない図書館を時間つぶしに利用している人もおられるかも分かりません。桜ヶ丘や帷子分館は公民館併設のため利用しやすいということもあるかも分</p>	<p>ご提案のサービスの実施は考えておりません。また、高齢者や障がいのある方もできる限り外へ出て、社会との繋がりを持つことが大切であるため、その際に気軽にお出かけができるように、コミュニティバスの充実も図ってまいります。</p> <p>可児市が平成 27 年度に実施した「可児市公共施設等に関するアンケート調査」における図書館に関する自由意見や、岐阜市立中央図書館（みんなの森岐阜メディアコスモス）など、最近の他自治体で新設された図書館の傾向から滞在型のニーズが高いと考えています。</p>

<p>かりません。純粋にしっかり閲覧のための利用が増えているのならともかく、他の目的のためであれば閲覧スペースを増やす必要はないのではないかと思います。安易に「貸出中心」から「滞在できる」施設へ<u>変化している</u>、とはいえないのではないのでしょうか？</p>	
<p>2. 公民館の稼働率が低いスペースの活用について</p> <p>一般的に体育室の稼働率は高いが、一部会議室の稼働率が低いとのこと。公民館をコミュニティーの中核として考えるのであれば、予約制の部屋だけではなくて「いつでも・だれでも」自由に利用できる(遊べる・相手がいる憩いの場)を作ってみては如何でしょうか？将棋・囲碁や輪投げ・カローリング・軽スポーツ等が行なえる、仲間がいる、友達がいる、そういう場所に会議室を開放するというのは如何でしょうか？高齢者の施設・子どもの施設など一部の人に限定した施設もありますが、UNICのように老若男女がいつでも・誰とでも触れ合える空間を作ることによって新たなコミュニケーションの場が出来るのではないのでしょうか？(但し道具等の管理人が必要かも分かりません)</p>	<p>「公民館をより使いやすい施設とするための方策について」の答申（可児市社会教育委員の会議 平成 28 年 8 月 25 日）も踏まえ、可児市公共施設等マネジメント基本計画（案）P35 施設の今後の方向性で、稼働率の低い部屋の有効活用により子育て或いは高齢者サロン等で利用できるようにすることで市民ニーズに対応するという提案をさせていただきました。</p>

<p>3. エコドームについて</p> <p>廃棄物の減量・資源再利用は重要なことです。しかしエコドームの設置場所が良くないので私は利用したことがありません。自治会内の集積所(缶・ペット・金物など)や集会所、公民館(電池・蛍光灯など)やスーパーを利用しています。理由は『車がないと持っていけない』からです。希望とすれば、近くの公民館で処理してもらうことができれば非常に助かります。</p>	<p>廃棄物の減量や資源の再利用については、自治会内の集積所や集会所等に設置したリサイクルステーション及びリサイクル拠点として設置したエコドームで行っていますが、それに加えて現在市内に24箇所の無料民間回収場所もあります。今後もこの体制で進めてまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。</p>
<p>4. 学校の集約について</p> <p>児童の減少により南帷子小学校を帷子小学校へ集約するということが検討されているようですが、平成32年に3億円をかけて南帷子小学校の校舎の大規模改修が予定されています。平成51年の集約時期を早めてこの大規模改修前に集約ができないのでしょうか？3億円がもったいないと思います。</p> <p>同じように、平成57年集約予定の西可児中学校と広陵中学校の集約も、平成32年度に行なわれる予定の改修工事費2億円弱がもったいないので早めることが出来ないのでしょうか？</p> <p>これに関連して、広見線の廃線について提案があります。広見線はここ数年可児市が確か3,000万円/年の補助を行っていると思います。生活の足としての存続が理由だと思いますが、東濃高校の生徒の通学の足としての利用が大きな理由と聞いています。全国的にはローカル路線は廃止傾向にあります。一部では思い切った改革をして存続させているようです。しかしこれらの路線は長距離です(一時間以上)。広</p>	<p>可児市公共施設等マネジメント基本計画(案)P17「小規模校は建替え時に集約検討」で説明しているとおり、学校の集約には相当の時間を要しますので、計画的に適時的確な改修を行い、児童生徒にとってより良い教育環境を確保し、可児市の教育の質を低下させないための配慮が必要です。</p> <p>一方で、可児市公共施設等マネジメント基本計画(案)P18「義務教育施設の整備に関する基本方針の策定」には、今後の児童生徒の推移により、場合によっては、施設の耐用年数の前に集約することについても記載しています。</p> <p>県立高校の再編については、県教育委員会において検討されています。また、現時点では名鉄広見線は高校生の通学手段として重要であり、代替え手段に比べ安価で利便性が高いため存続すべきと考えています。</p>

見線はたかだか 10 分程度しかありません。有識者や関係者の方が永年に亘りご検討されても抜本的な改革案が出てこない現状を見るにつけ、そろそろ廃線を決断すべき時ではないでしょうか？高校を広陵又は西可児中学校跡に移して、広見線を廃止してバスに変更するという案は如何でしょうか？西可児駅近くの方が高校生も通学に便利になるし、またバスにした方が自由な路線が組めて、土地の方の利便性向上に役立つというメリットもあるのではないのでしょうか？他市(郡)・県も絡んだことですのでいろいろ難しい問題もあろうかと思いますが、何かをきっかけにして英断しないと改善はできないと思います。是非ご検討下さい。